

本学、スポーツ学部の太田翔馬さんが、2月18日（日）に開催された北九州マラソンに学生トレーナー一部としてAEDボランティアで参加していました。その際、ランナーとして参加していた男性が競技中に心肺停止の状態となり、複数のバイスタンダー（救急現場に居合わせた方）と救命措置を行いました。その後、男性は心拍と自発的呼吸が再開し、病院での治療を経て3月に無事退院されたとのことです。

この度、初期対応が迅速かつ正確だったことが要因の1つで、北九州市小倉北消防署から感謝状をいただきました。



